

MYANMAR

Program
7

- ミャンマー・ヤンゴン・バガン -

**発展途上国ミャンマーで
都市部と農村地帯の
現状を考える**

～経済成長を遂げるミャンマーで
都市開発のリアルを探る～

研修期間：2020年2月26日(木)～3月9日(月) 13日間
別途事前・事後研修：3日間
277,000円～285,000円



協力：全日本空輸



当プログラムの内容を十分にご理解いただき、安心して海外研修をお申込みいただけるよう、プログラムの内容を丁寧に記載させていただいております。

研修の特徴

ポイント 1



都市部の経済区の視察

有名日系企業をはじめ世界各国から進出している企業を1か所にまとめた経済区の視察による海外からの進出現場を知ることができます。

ポイント 2



地元の方々との交流体験

地元の方と一緒に創りあげている研修だからこそ行ける地元の方々との貴重な交流体験をしていただけます。

ポイント 3



郊外の農村地帯体験

都市部と大きく異なる郊外の農村地帯を地元の方ならではの視察、体験を行うことができます。

ポイント 4



仏教信仰の奥深さを感じる

強い仏教信仰国でも知られるミャンマー。視察場所、生活環境、衣類等さまざまな場面を通じ、仏教信仰の奥深さを感じられます。

包括的研修プログラム

研修合計
85時間

都市・郊外
多面的な視察
ヤンゴン都市部の経済
区と、バガンや郊外
での伝統的な生活
環境を視察

ローカル
ならではの
研修内容

研修日程

※朝昼夕は食事表記です。

1日目 2/26(水)

朝：機内 昼：× 夕：○ ホテル泊

- 日本（成田空港）発 全日空(NH813) 11:00
- ✦
- ヤンゴン着 16:30
- 到着後、現地係員の出迎えを受けヤンゴン市内へ移動。
- 現地レストランにて夕食を取り、ホテルへ

2日目 2/27(木)

朝：○ 昼：○ 夕：○ ホテル泊

研修 1 | 研修に向けた オリエンテーション

研修時間
4時間

ホテルにて、ミャンマーにおける基本情報や研修行程内容の確認、研修期間中の諸注意等のオリエンテーションを実施

- 研修課題と目的・成果確認（事前研修で決めた小グループ毎に討議）
- 研修行程の説明、確認（現地係員より）
- ミャンマー滞在中の留意点、緊急連絡先等確認（現地係員より）

フィールド研修 1 | ミャンマーと日本国 との関係を考える①

研修時間
3時間

ヤンゴン川を渡るフェリーに乗船（晴天時）
（フェリーは日本政府が寄贈したもの／日本人は無料で乗船）

3日目 2/28(金)

朝：○ 昼：○ 夕：○ ホテル泊

フィールド研修 2 | ミャンマーと日本国 との関係を考える②

研修時間
3時間

ヤンゴン環状線を体験する（ヤンゴン中央駅発）（約2時間30分）
日本製中古列車車両が数多く各地で走っており、地元の方々に混ざってミャンマーの日常的な体験をする

フィールド研修 3 | ミャンマー・ティラワ 経済特別区で 現地日系 企業訪問

研修時間
5時間

現地日系企業の状況、現地日系企業の課題等、現地の方や日本人赴任社員との交流や日本とミャンマーの違いなどを学ぶ

- 経済区近くに来たスーパーホテルの視察

4日目 2/29(土)

朝：○ 昼：○ 夕：×（各自） ホテル泊

フィールド研修 4 | 旧首都のヤンゴン市内 視察

研修時間
3時間

- イギリス時代のコロニアルな街並みとスレーパコダ（車窓）
- ヤンゴン市庁舎外観、旧最高 裁判所外観、独立記念



フィールド研修 5 | ミャンマーにおける 日常生活 （食、生活文化）を考える

研修時間
2時間

- ヤンゴン最大のマーケット@ボージョーアウンサンマーケット視察
- ヤンゴンで日本人が経営しているクッキーのお土産物店視察

フィールド研修 6 | ミャンマーにおける 仏教信仰を考える①

研修時間
3時間

- ヤンゴンで一番大きな寝釈迦、チャウタジーパコダ視察



グループ 1 | 研修参加者グループでの討論会

事前研修で決めた小グループ毎に分かれ、前半の研修を振り返り、課題について討議する

3時間
研修時間

5日目 3/1(日)

朝:○ 昼:○ 夕:○

チャイキテル村泊

フィールド 7 | 地元の人々との交流・体験型視察

6時間
研修時間

ヤンゴンの郊外にあるトワンテ地域 (Twante Township) にあるチャイキテル村のコミュニティー・ベース・ツーリズム (CBT) (Kyaikthale Village) へ (片道2時間頃)

- 村に宿泊しながら、地元の人々と一緒に野菜栽培をお手伝い。民家を訪問し、日常生活や農家の暮らし、伝統的な陶器作りの話もきけるかもしれません。
- 地元の子どもの笑顔にであえることでしょう。
- 伝統的な暮らしを営む村の人々の生活支援や、自然保護の活動を応援する政府公認プロジェクトです。世界各国から文化や地域の人々との交流に関心を持った旅人が参加しています。
- 夕食は、市場で買い物を して村でミャンマー料理 つくりを体験します。



6日目 3/2(月)

朝:○ 昼:○ 夕:×(各自)

ホテル泊

専用バスにてヤンゴンへ移動 (片道2時間頃)

フィールド 8 | ミャンマーにおける 仏教信仰を考える②

3時間
研修時間

- ヤンゴンのシンボル・世界一豪華な黄金仏塔シュエダゴン・バゴダ視察

交流授業 1 | ミャンマーにおける 若者世代の交流活動

4時間
研修時間

- ヤンゴンでの大学生との交流やミャンマーの今とこれからについて議論する

7日目 3/3(火)

朝:○ 昼:○ 夕:○

ホテル泊

ホテルから空港へ専用車にて移動、国内線にて世界遺産バガンへ
バガン空港到着後、現地係員の出迎えを受け専用車にてニャウンウーマーケット視察

- ローカル色溢れるニャウンウーマーケットの散策

フィールド 9 | ミャンマーにおける 仏教信仰を考える③

4時間
研修時間

- 雄大な世界三大仏教遺跡バガンを視察
- 金色に輝くシュエジーゴンバゴダ
- バガンの代表的建築、美しき寺アーナンダー寺院
- バガンで最も高い寺、ダビニュー寺院



フィールド 10 | ミャンマーにおける 仏教信仰を考える④

4時間
研修時間

- マヌーハ寺院等、ミャンマー伝統工芸を視察

フィールド 11 | ミャンマー伝統芸を視察

2時間
研修時間

- ミャンマー伝統的パペットショー(人形劇)を視察

8日目 3/4(水)

朝：○ 昼：○ 夕：× (各自)

ホテル泊

専用バスにてバコック (Pakkoku) へ移動 (片道1時間頃)

フィールド 12 | ミャンマーの伝統着 (ロンジー) について視察

研修時間
4時間

- ミャンマー中小企業視察
- ミャンマー伝統的な繊維製品コテージ産業を視察
- ロンジー制作工場及び販売店の視察

昼食後、バガンに戻りホテルへ

グループ 2 | 研修参加者グループ での討論会

研修時間
3時間

事前研修で決めた小グループ毎に分かれ、中間までの研修を振り返り、課題について討議する

9日目 3/5(木)

朝：○ 昼：○ 夕：○

ホテル泊

ホテルからニャウンウー・タウンシップの農村エリアにあるミャンマーの乾燥地帯の田舎へ (片道1時間頃)

『ガタヤウク村』

フィールド 13 | ミャンマーにおける 農村地帯の現状を知る

研修時間
4時間

- 伝統的な陶器作りの視察
- 伝統的な発酵味噌を作っている工房視察
- 伝統的なミャンマーゲタ工房 訪問



その後Sat Sat Yo村へ (片道30分頃)

支援活動 | ボランティア研修視察へ

研修時間
4時間

- 村植樹活動 (自然環境保護活動)
- 地元の子供たちへのふれあい 活動



終了後、バガンへ戻りホテルへ

10日目 3/6(金)

朝：○ 昼：○ 夕：× (各自)

ホテル泊

フィールド 14 | ミャンマー精霊信仰の 総本山訪問と 村の生活を知る

研修時間
6時間

専用車にてホテル出発

- 途中、バガンの近くの村に住む、「シュロ」の木から取れる様々な自然の物産を売って、生活している一家族を視察
- ポッパ山観光/タウンカラの麓着/ポッパマウンテンリゾートにて昼食

バガンのホテルへ移動

11日目 3/7(土)

朝：○ 昼：○ 夕：× (各自)

ホテル泊

ホテルから空港へ専用車にて移動、国内線にてヤンゴンへ
ヤンゴン到着後、専用車にてホテルへ移動

グループ 4 | 研修参加者グループ での討論会

研修時間
4時間

事前研修で決めた小グループ毎に分かれ、全体の研修を振り返り、課題について最終討議する

研究成果 | 研修成果発表会

研修時間
2時間

研修成果発表会及び懇親会の実施

12日目 3/8(日)

朝：○ 昼：×(各自) 夕：機内 機内泊

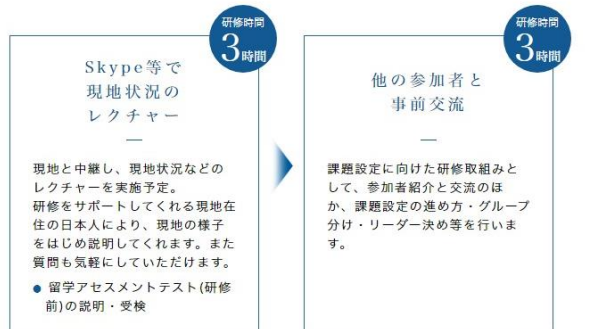
- 夕方の出発まで、各自これまでの研修の振り返りと、自由研究
- ヤンゴン発 全日空(NH814) 22:10



13日目 3/9(月)

- 日本（成田空港）到着 06:45

事前研修



事後研修

The post-workshop activity is titled '研修成果を振り返る' (Reflect on workshop results) and has a '3時間' (3 hours) duration. It includes a text box and a photograph of two people working on a laptop.

研修時間 3時間

研修成果を振り返る

この研修全体の振り返りと帰国してから考える、研修成果に対する変化、これらの経験をどう活かすことができるかなどをみなさんで考えます。

お申込みはこちら



※各プログラム定員に限られた先着順申込みとなるため、締切日前に最大定員に達した場合には期日に関わらずお申込みを終了いたします。またお申込みは第2希望まで手続きをいただくことが可能です。第1希望のみのお申込み時に最大定員になっていた場合にはキャンセル待ちとなります。

申込受付終了!

※二次募集の有無は一次申込状況により決まります。詳しくはお問い合わせ下さい。

実施要項

研修都市	ミャンマー
研修先	①ヤンゴン市内 ②チャイクテル村 ③バガン ④バコック ⑤ガタヤウク村 ⑥Sat Sat Yo村 ⑦ポッパ山
研修期間	2020年2月26日(水) ～ 3月9日(月) 13日間 ※事前・事後研修*日間除く
研修時間数	事前研修・講習/事後研修を含め 85時間
宿泊方法	①ヤンゴン市内ホテル (Reno Hotel 又は Central Hotel予定 2~3名一室利用/男女別) ②チャイクテル村 (宿泊施設/男女別) ③バガン市内ホテル (Ruby True Hotel 又はFloral Breeze Hotel予定 2名一室利用/男女別)
食事条件	朝11回/昼10回/夕6回含む(機内食は除く)
利用予定航空会社	全日空(団体エコノミークラス利用)
募集人員	先着最大15名様 ・8~15名(最少催行人員8名) ・先着順申込、最大募集人員に達した場合には、申込期限に関係なく申込受付を終了とします。
添乗員	なし ※ただし現地研修期間中は日本語のわかる現地スタッフがサポートいたします。
研修代金	(1名あたり) 8~10名様 285,000円 11~15名様 277,000円
研修参加条件	・語学力： 問いません ・大学生・大学院生・外国籍学生 ※大学院生は正現生に限ります。 ・各研修プログラムの趣旨を理解し前向きにご参加いただける方 ・心身ともに健康である方 ・研修参加に定めている「海外旅行保険」へ加入をいただく方 ※持病(医師に処方された薬を服用している等)や障害をお持ちの方につきましては個別に参加の有無をお問合せ下さい。 ※外国籍学生は在留資格や研修先国のビザ等の種別条件に問題が生じない場合に参加可能 ※高校生については、大学生との混合研修への参加は不可。学校単位の研修で実施の場合には高校生の参加は可能。
海外旅行保険への加入について	当社指定の海外旅行保険へ加入することが参加必須条件です。 ※海外旅行保険の申込み方法 研修申込み手続きが正式に締結できたことをお知らせする際、保険の申込み方法をあわせてご案内いたします。

※事前・事後研修・講習は研修確定後に日時を確定してお知らせいたします。

※利用フライト番号、時間、乗継地、研修行程内容ならびに実施する理由は航空会社、現地事情や天候等により変更になる場合があります。

※日本の空港施設使用料(成田：2,660円 ※旅客保安サービス料含む)、外国空港諸税(2,840円)、国際観光旅客税(1,000円)、航空保険料・燃油サーチャージ(13,200円)等は含まれません。

※表示金額は2019年10月1日現在(変動制)請求時に確定した金額を研修代金に含ませてご請求いたします。

※日本国籍であればビザ無しで入国可能、ただし国際航空によりパスポート残存期間6カ月以上必要

※外国籍の方については国籍により異なります。各国の大使館、領事館にてご確認をお願いいたします。

研修代金に含まれるもの

- 事前研修・講習/事後研修料
- 現地研修費用(行程表に記載する研修内容)
- 研修中の滞在費(全泊分)
- 参加者討議会場代
- 食事条件に示す食事回数
- 視察訪問先入場料
- エコノミークラス利用往復航空運賃
- 現地空港とホテル、村、訪問場所間の送迎費用(行程表記載)
- 現地係員同行、サポート代
- 企画事務手数料及びプログラム管理費
- 研修前後の留学アセスメントテスト代

研修代金に含まれないもの

- ※上記の他は参加費用に含まれません。
- 日本の空港施設使用料
- 外国空港諸税
- 国際観光旅客税
- 航空保険料・燃油サーチャージ
- 渡航手続諸費用(旅客印紙代、査証代等)
- 成田空港までの往復交通費
- 海外旅行保険
- 個人的費用(お土産購入代、御し遣い等)
- 個人的費用(交通費・電話代・クリーニング代等)
- 自由研究行動中の一切の費用
- 行程内に含まれない食事代・交通費
- 通訳代

お申込み方法

STEP1 | オンライン申込書の提出

オンライン申込書に必要事項を入力し送信完了の上お申込みください。
お申込み完了後、申込書受付完了メールが自動で送られます。

お申込みはこちら →

申込受付終了！

※先着順受付のため最大募集人員に達した場合には、申込期日に関係なく申込受付を終了とします。
※二次募集の有無は一次申込状況により決まります。詳しくはお問い合わせ下さい。

STEP2 | 申込金の納付

オンライン申込書を受領後、研修お申込代金30,000円(研修代金の一部)を下記銀行口座へお振込みいただきますようお願い致します。申込み契約締結はお申込金を受領した時に成立いたします。

振込先	三菱UFJ銀行 江戸川橋支店
口座番号	口座名義：普通0081921 力) ワセダダイガクアカデミックソリューション
申込金 振込期日	オンライン申込書の提出から1週間以内

STEP3 | 事前研修・講習／事後研修実施日

研修プログラム催行決定後に事前研修・講習会を実施いたします。具体的な日程の詳細、訪問地の情報、旅行中の諸注意等のご案内も併せて行う予定です。実施日時は決まり次第ご連絡いたします。

STEP4 | 研修代金残金のお支払い

残金のお支払いはご出発1ヶ月前を予定しております。ご請求書はそれまでに発行してメールにてお送りいたします。お支払いは請求書に記載の期日までに指定銀行口座へお振込みくださいますようお願い致します。

ご旅行取引諸条件・取送料について

こちらのご旅行取引条件説明書をご参照ください。

→こちらをクリックすると諸条件がでます

学生モニター募集のご案内

当プログラムでは参加される学生の皆さまから「学生モニター」を募集します。学生モニターは、研修の様子や学生同士の議論を撮影したり経験談を寄稿いただくなど「海外フィールドスタディ」の情報発信(広報活動)に参加していただきます。

学生モニターに選ばれた方は、研修費用割引等の特典を用意しています。ご参加の際は、積極的に応募して下さい。

現地の様子



研修担当者による 現地視察の様子



研修企画・開発 / 旅行取扱・お問合せ

株式会社 早稲田大学アカデミックソリューション 旅行チーム
「海外フィールドスタディプログラム2019担当係」
〒169-0051 東京都西早稲田1-9-12
大隈スクエアビル3階
TEL: 0120-940-490
e-mail: studyabroad@w-as.jp
観光庁長官登録旅行業2059号 全国旅行業協会 (ANTA) 正会員
旅行業務取扱管理者: 鈴木 由美

